

栃木県立鹿沼南高等学校 食料生産科

食料生産科では、私たちが生きていくために欠かせない「食」について学ぶことができます。農産物の栽培（作物・野菜・果樹）、家畜の飼育（牛）、食品の製造が学習の柱です。

また、地域に根ざした活動を積極的に展開し、鹿沼そばの普及や鹿沼和牛の飼育などに取り組んでいます。

特徴的な活動



安全・安心な農畜産物への挑戦

果樹を専攻している生徒たちは課題研究の授業の一環で、栃木県GAPに取り組みました。上都賀農業振興事務所の職員からご指導して頂き、ブルーベリーでは県内初の認証となりました。

畜産部門では、第4回和牛甲子園で枝肉評価部門で優秀賞を受賞しました。



農業女子のための活動

～ 人と環境と地元に優しいトマトタールに特化した手指洗浄剤の開発 ～

トマトの収穫時、手にトマトタールが付着します。トマトタールは石けんで落ちない厄介な汚れです。このトマトタールを落とすため、地元の鹿沼土を配合した洗剤を開発しました。

このプロジェクトは、地元の化粧品会社や大学等と連携した取り組みで、全国高校生農業アクション大賞や農業クラブ関東大会に出場しました。



【プロジェクトの成果・実績】

- 2017年 第1回全国高校生農業アクション大賞支援対象
- 2018年 日本農芸化学会「ジュニア農芸化学会」銀賞受賞
- 2019年 第6回高校生ビジネスプラン・グランプリ準グランプリ受賞
「全国高校生農業アクション大賞」大賞受賞
- 2021年 第72回関東地区学校農業クラブ連盟大会埼玉大会
プロジェクト発表 分野Ⅱ類 優秀賞



栃木県立鹿沼南高等学校 環境緑地科

環境緑地科では、花壇苗の栽培や鉢物の栽培を学習します。実習で栽培した草花は学校祭で、近隣住民の方々に販売します。

また、地域資源を見直す活動として、朝鮮人蔘に注目して組織培養や種の保存のため、栽培試験などを行っています。



サツキ栽培 ～海外輸出にむけて～

鹿沼市は、サツキツツジの日本有数の生産地として、全国にその名を知られています。現在、世界的な盆栽ブームに相まって、サツキに海外からの熱いまなざしが注がれ、サツキの輸出が増加しています。一方で、盆栽用苗木の生産農家は減少し、将来的には苗木の供給不足が懸念されています。

本校は、このような状況を踏まえ、日本の高校として初めてサツキの生産から輸出に挑戦し、サツキ盆栽の輸出許可を取得しました。また、帝京大学、理化学研究所の御協力の下、重イオンビームによる新品種育種を行っています。



外部機関との連携によるスマート林業の取組

本校には、県内唯一の林業コースがあり、林業関係の科目の学習を通して、山林の管理やキノコの栽培方法などを幅広く学んでいます。

将来性の高い若者の林業就業促進を図るため、各関係機関と連携し、林業従事者として必要な知識と技術を学習します。

